

2025 年 10 月吉日

虎屋 赤坂ギャラリー 秋冬展

とらやトリビア ～江戸時代編～

2025 年 11 月 1 日（土）～2026 年 2 月 15 日（日）



本展示では、江戸時代（1603～1867）を中心に、虎屋にまつわるさまざまな「トリビア」を約40点集めました。つい誰かに話したくなる虎屋のあれこれを、ぜひ会場でお楽しみください。

■展示の見どころ■

○創業から東京出店までのトリビアを年代順にご紹介

京都で創業した室町時代後期から、京都の店はそのままに東京店を開設した明治2年（1869）までの虎屋のあゆみをたどります。

〈例〉あの天才芸術家もお得意様だった！

国宝「八橋蒔絵螺鈿硯箱」ほか、数々の名品を生みだしたことで知られる尾形光琳（1658～1716）。

虎屋には光琳からの注文記録が残っており、お納めした『色木の実』など10種類の菓子を、再現模型やスライドショーでご紹介します。



『色木の実』

<より詳しく知りたい方は？>

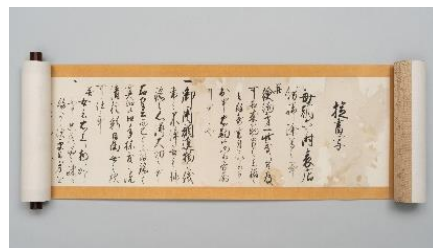
それぞれのトリビアには、適宜 QR コードを設置しています。

史料についてもっと深く知りたい！ 明治時代以降虎屋はどうなったの？ といったさらに詳細な情報は、スマートフォンなどからご覧いただけるようにしました。

ギャラリーを出る頃には、「虎屋通」になっているかも！？

○虎屋の歴史を物語る史料が登場

会場中央では、現在の就業規則に相当する、文化2年（1805）の「^{おきてがき}掟書」（右画像）、お客様へ菓子をお届けするのに使用した、伝元禄11年（1698）の竹虎青貝井籠（^{たけとらあおがいせいろう}前頁トップ画像）など、トリビアにまつわる史料を月替わりで展示します。



＊展示スケジュール（いずれも複製品）

11月1日～12月1日：「掟書」

12月2日～12月24日：「^{てんいんやくわりがき}店員役割書」

12月25日～2026年1月19日：竹虎青貝井籠

1月20日～2月15日：「^{いんの ごしよきまぎょうこう の お か し かよ}院 御所様 行 幸之御菓子 通」

会場で来場者アンケートにご協力いただいた方には、オリジナル壁紙画像をプレゼントいたします。

■基本情報■

タイトル：秋冬展「とらやトリビア ～江戸時代編～」

会 期：2025年11月1日（土）～2026年2月15日（日）

休 館 日：11月6日（木）、1月6日（火）、2月6日（金）＊赤坂店休業日に準じます。

時 間：9:30～18:00 ＊年末年始は変更となる場合があります。

最新情報は[とらや公式ホームページ](#)をご確認ください。

場 所：虎屋 赤坂ギャラリー

東京都港区赤坂 4-9-22 とらや 赤坂店 地下1階

地下鉄赤坂見附駅 A 出口より徒歩約7分

料 金：入場無料

電 話：03-3408-2402（担当部署／虎屋文庫）

<取材に関する問い合わせ先>

株式会社 虎屋 マーケティング部 広報 担当：龍

東京都港区元赤坂 1-5-8 虎屋第2ビル 3階

電話：03-3408-4128 / Fax：03-3408-6274 メール：pr@toraya-group.co.jp